

2002.4.24

< 報道関係各位 >

東京ガス都市開発株式会社
PT-5

パークタワーアベニュー アート BOX 『福猫・招き猫』展 開催のお知らせ

会 場：新宿パークタワー地下 1F「パークタワーアベニュー」
会 期：開催中～2002年7月15日(月)

新宿パークタワー（新宿区西新宿3-7-1）、地下1階のショップ&レストラン街「パークタワーアベニュー」内の点在形アートスペース「アベニューアート BOX」では、来る7月15日(月)まで、7名の作家によるパークタワーアベニュー アート BOX 『福猫・招き猫』展を開催中です。

本展は、作風も使用素材も異なる7人の個性溢れるアーティスト達が、「猫」という共通のモチーフのもとに作品を2点ずつ発表するものです。計14点の作品は、全て30cm角のガラス張りのボックス「アベニューアート BOX」内に展示。アベニューをご利用いただく方々の幸福と、商売繁盛の願いを込めて展示します。

参加アーティストは、流木やドライフラワーなどを使って妖精とそれを捕獲しようとする猫を表現した堀内薫氏。伝統的かつ現代の時代感性と共存する招き猫の土鈴を創作する蝉丸氏。独学で人形製作を始め、作品は全て手びねりで、乾燥後に縮緬などの虚古布・和紙を貼って完成させる千里氏。陶による立体作品を創り、猫の持つフォルムの美しさの表現を目指す古田一也氏。猫をテーマに和紙による立体作品を創る齋藤敬子氏。辻村ジュサブロー氏の人形に魅了され、猫の持つ神秘的なプライドを粘土と古布で表現する石井一衣氏。陶の彫塑にアクリル彩色による具象作品を創る N.HIGLA 氏の7名です。

本資料をご参照の上、「イベント・展覧会情報」としてご紹介いただければ幸いです。

< この件に関するお問い合わせは下記までお願いします。 >

新宿パークタワー
担当：増田・佐藤・中山
〒163-1053 新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー 13F
TEL：03-5322-6647 FAX：03-5322-6642
東京ガス都市開発株式会社
Email：parktower@tgud.co.jp
URL：http://www.shinjukuparktower.com

[開催概要]

- 名 称：パークタワーアベニュー アートBOX『福猫・招き猫』展
会 期：開催中～2002年7月15日(月) 会期中無休
会 場：新宿パークタワー地下1階パークタワーアベニュー
 ショップ&レストラン街
 (新宿区西新宿3-7-1)
電 車：JR 新宿駅南口から初台方面に徒歩約12分
 京王新線初台駅から徒歩約8分
地下鉄：大江戸線都庁前駅から徒歩約8分
バ ス：新宿駅西口京王百貨店前から都営バス「新宿車庫」行にて
 「西参道下車」
シャトルバス(無料)10:10～18:50の間、新宿駅西口の新宿エルタワー前から
10～15分間隔で運行
 但し、曜日により運行時間が異なる場合もあります。
- 主 催：東京ガス都市開発株式会社
展示内容：「猫」をモチーフとした作品14点



展示作品より

[出品作家紹介]

石井一衣 かずえ

- ・ 出品作品 「古裂紫縮面猫」 こぎれむらさきちりめんねこ 「からくり・面被りの黒猫と猫管」 ねこばこ
太陽よりも月、昼間よりも夜の闇が似合う猫たちを・・・
凜として媚びない猫たちを・・・
大好きな紫を基調にこれからも。
- ・ 東京生まれ。愛猫3匹と暮らす。
猫と狐を中心に古裂作品を創作するかたわら、ピアニストという顔も持ち、
パールに包まれた独特の雰囲気を持つ作品を制作中。

N . H I G L A

- ・ 出品作品 「西洋将棋《猫惑星 / 盗妃譚》月の部族・部分」 とうひたん 「同 火の部族・部分」
30年ほど昔の詩人、寺山修司氏の西洋将棋を異惑星の戦いに見立てた。
- ・ 1949年 千葉生まれ
1973年 フリーのイラストレーターとして活躍
1989年 陶芸の修行に入る
1992年より陶生地にアクリル彩による招き猫フィギア制作に入り現在に至る

蝉丸

- ・ 出品作品 「ゆうねこ / 張込み桜文」 きんぎんはくちょうはろうもん 「ゆうねこ / 金銀箔蝶波浪文」
悠・幽・遊・憂・裕の ゆうねこ
陶生地に和紙張込みアクリル彩
- ・ 1959年 群馬県生まれ
1992年 北鎌倉に蝉丸工房を設立
1997年より日本各地において合同展と個展を展開し現在に至る
2000年 英国ロンドンにて個展

千里

- ・ 出品作品 「歌舞伎風大招き猫」
日本の伝統色である赤と黒。その色の持つパワーを作品に生かし、古布や多様な素材をクレージーキルト風に駆使し、好きな歌舞伎の衣装のイメージで創作。
- ・ 出品作品 「福猫・招き猫 揃え」
「福」「寿」「願成成就」の鳴りものを持った福持ち猫に、開運招福の白猫もうかれて縁起のだるま乗り。黒松文様の老猫もつられて渋顔、人招き。
- ・ 1952年 東京生まれ
1976年 日本デザイン専門学校卒業
グラフィックデザイナー、テキスタイルデザイナーとして活躍
1996年 独学で人形製作を始める
1997年 ユザワヤ創作大賞（銅賞）受賞
1999年 | 銀座のギャラリーに於いて「猫100てん展」を開催、好評を博す
2001年
2001年 9月 浅草橋「山田や」に於いて「猫と人形・月見猫展」開催。
2002年 5月11日より24日まで恵比寿・ギャリカプリスにて「千里100猫展」を開催予定

吉田一也

- ・ 出品作品 「見つけた！」 「狙い」
ネコの持つフォルムの美しさを、陶芸という制約の中でどれだけ表現出来るのか。ネコ好きな人も、そうでない人も、見入ってもらって、どこか暖かさを感じてもらえる、そんな作品を目指して創作。
- ・ 1970年 京都生まれ
- 1994年 京都市立芸術大学日本画科卒業
- 1999年 陶器で立体作品を作り始める
- 2000年 アメリカ、ボストン美術館ミュージアムショップで陶器製のエンジェルを販売
- 2001年 1月ニューヨークで行われたギフトショーに出品

堀内薫

- ・ 出品作品 「羅針盤を求めて・・・」
植物や石、羽毛など、自然素材の持つ微妙な色と形で猫の顔や体の動きに繊細で緻密な表情を与えられるよう、様々な努力をして創作。
- ・ 1962年 長野県に生まれる
- 1985年 多摩美術大学 建築科卒 絵を描き始める
- 1987年 モニュメント制作にたずさわる
- 1995年 流木、ドライフラワーによる立体作品の制作開始
- 2000年 玄豆屋にて鉛筆画展
- 2001年 トリックアート立体の部、入賞
妖精と猫立体小作品制作開始

齋藤敬子

- ・ 出品作品 つやねこ「艶猫／源氏蝶」 つやねこ「艶猫／牡丹」
猫の持つ独特の魔性を柔らかな女性に擬人化し、絵を描き加え、古布を透かして隠された妖艶さを表現。
- ・ 1948年 福島県 会津生まれ
- 1979年 東京で夫とともに猫など立体造型開始
- 1985年 和紙や手描きの作品を各所で発表
- 2000年 銀座「猫・ねこ・ネコ展」などに出品
- 2001年 猪苗代に「アトリエ瑛齋」を構え、制作活動中